KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
Kodak
LICENSED PRODUCT
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
ル 3
1781
tajima
JAPAN

3 呂ル門
明治 1784

此諸國安見通之繪圖ハ何の
板行もなき知れる
ゆゑ相刻仕置き城主
又久保加賀守と有ハ真享
二巳年三月頃
元ゝ二の卯年
加賀守入木の
今ハ不成就
いとも口惜
別ニ有

一

今ハ不成就

一北路之日本道年歳
之記行
清涼編之巻

正月 三日
二月 二日
三月 朔日
四月 九日
五月 十日
六月 十一日
七月 十二日
八月 十三日
九月 十四日
十月 十五日
十一月 十六日
十二月 十七日

諸國に旅立ち日取事

十九日 廿七日 廿六日 廿五日 廿四日 廿三日 廿二日 廿一日 廿日
十八日 廿六日 廿五日 廿四日 廿三日 廿二日 廿一日 廿日 十九日
十七日 廿五日 廿四日 廿三日 廿二日 廿一日 廿日 十九日 十八日
廿八日 廿七日 廿六日 廿五日 廿四日 廿三日 廿二日 廿一日 廿日
廿九日 廿八日 廿七日 廿六日 廿五日 廿四日 廿三日 廿二日 廿一日
晦日 廿九日 廿八日 廿七日 廿六日 廿五日 廿四日 廿三日 廿二日

右のとりいわぐのせのあくびをうつしたるものなり
びをしてあくびをうつしたるものなり
ようなるものなり
こうのとのぜんあくをとるにたとえ
をくびをうつしたるものなり
みくびをうつしたるものなり
うつしたるものなり
ずらりしべ
奇びきあくびをうつしたるものなり
びをしてあくびをうつしたるものなり
日もくれかかりたるゆえ

東海道宿付

東海道五十三次の内
をこの川の刻一分ずつ吸川
名ゆえのまいかわ

江戸より板橋まで二里　半九丁
板橋より蕨まで一里余　半九丁
蕨より戸田の渡しまで一里　半九丁
戸田の渡しより浦和まで一里半　半九丁
浦和より大宮まで二里　半九丁
大宮より上尾まで二里　半九丁
上尾より桶川まで一里　半九丁
桶川より鴻巣まで一里　半九丁
鴻巣より熊谷まで二里　半九丁
熊谷より深谷まで二里　半九丁
深谷より本庄まで一里半　半九丁
本庄より児玉まで二里　半九丁
児玉より新町まで二里　半九丁
新町より倉賀野まで一里半　半九丁
倉賀野より高崎まで一里　半九丁
高崎より板鼻まで二里　半九丁
板鼻より安中まで二里　半九丁
安中より松井田まで二里　半九丁
松井田より坂本まで三里　半九丁
坂本より碓氷峠まで一里半　半九丁
碓氷峠より軽井沢まで一里半　半九丁
軽井沢より沓掛まで二里　半九丁
沓掛より追分まで一里　半九丁
追分より小田井まで二里　半九丁
小田井より岩村田まで二里　半九丁
岩村田より塩名田まで一里半　半九丁
塩名田より八幡まで一里　半九丁
八幡より望月まで一里　半九丁
望月より芦田まで二里　半九丁
芦田より長久保まで二里　半九丁
長久保より和田まで二里　半九丁
和田より下諏訪まで三里　半九丁
下諏訪より塩尻まで三里　半九丁
塩尻より洗馬まで一里半　半九丁
洗馬より本山まで一里　半九丁
本山より贄川まで一里　半九丁
贄川より奈良井まで一里　半九丁
奈良井より薮原まで一里　半九丁
薮原より宮ノ越まで一里　半九丁
宮ノ越より福島まで一里　半九丁
福島より上松まで二里　半九丁
上松より須原まで三里　半九丁
須原より野尻まで二里　半九丁
野尻より三留野まで一里　半九丁
三留野より妻籠まで一里　半九丁
妻籠より馬籠まで二里　半九丁
馬籠より中津川まで三里　半九丁
中津川より大井まで三里　半九丁
大井より大久手まで二里　半九丁
大久手より御嵩まで二里　半九丁
御嵩より伏見まで三里　半九丁

うん経うりうの堂
ありり▲ちのびにはなちの川
ちうとこだてそそのそこそ

ちの川かそのやちのちう
川ぞいへ弐里半
のりけ今おみりうとうり
ちの本みり今ニ里半

▲びちのやに赴ちの
うりちの方にそうりう
うりり山井にちやなこ
町ぞいぬこんのてこにあうう
寺ありり▲すかりりすぐ
右ありり山ちおちたうちむ
ぐいけりこいりたちの方に
ありたそうちる▲ちのび村

ちり右九ろうう今ち清心ち
の方ち流ニ川りたの方に
ちのび村ありりし夜
そりの川ちにあのれ奥ち
そりのとそりちうちう

川ぞいなこそのやにりう
ちの川へ弐里半
のりけ今おみりうとうり
ちの本みり今ニ里半

ちりたにりまうこ▲川ぞいの
のむそうれたの方一里ゆ
ゆけばた師かりそのふ
ちよありむり弘ち大師
入滅してりち弘法と作り
ちひつそち川にるび

▲そのゝ宮の町そのまゝ
ありつゝきて海ぐちをそこ
なのくるしく絶壁拾丈の丈
あり▲中宮のそのうらに
ある石ぶみ文化十丁丑年六月に建仁三年六月に源の頼朝
公の忠常をうつのふくろ
うづのうらくの人穴とい
せり此ほかにもあまたの
穴ありまづ其一をしるなら
穴の内とをるべからず
まづこれをくゞり忠常人穴
へ入ぐらくと見えありあま
程ありてあかりしこんげん
この穴ぐらや姫ごぜ人穴
みくしに姫ごぜ。ひとりぐ

▲このなかるゝ石の方六
町そこりにかんりくそよ
里あり▲ゐぐその町▲つゞ
くぐ九ちやうあり▲ひさこ
ばしい渡し▲同ぐそ里半ま
た二天ありて海ぐちあり
そこの川ぐ
そこやをそこらぐ
のぐくけ二十八ゝ
ぐ九ちやうけ二十八ゝ

でこれみてくださるの守せうれ
みてくださるやうぶつの御
をこゝにうつしたてまつるゆへ
ぬ所のはんじやうこれもまた
ぎこゝをまたちなのくぼろ
とうろのふるよし山中
のやどやなどかへてとゝ
のえをかゝれたのさう
町ありなりへうりあり

▲なごやこのやどハ名ハ
ありへ武里のうち
ありうり半二みへ人家四軒
ありこれ今都てとゝの里あり

▲宮の宿町うらまで二里の方

ひもうりさうれさうの
さうの下▲市村うり町
ありうり始てりのハけちん
こハ松とうろうそまさうら
松とうろ▲ちなの松ひん
おハりまさこ今ハう

▲うた町うるまでうろ
▲ゆへ町れの田れ井うる
へりたうこう由うまう
けうるぐ参まで二里うたけ
くも九ぐうんと三里は

ふりのうの　ちのやのうろ
ふで沢へ武里のうの松
六本うまうり宇ゐ参ぐ
三宇二参　ひなうろ十里あり

右の方に八まん宮あり
松山の下に出しるし
▲そらだかく町ぐち
うら家ども
ふもとの方に一里ばかり
こゝ松そろさにて
人うそうしん家ども
ふぢ沢のまち
家ひろく二三里十丁間のみち
百七二軒ばかりあり七十人ばかり
くち千ばかりあり
▲町の入口にたうげやしきあり
のあり右の方に
のちはかり山まで
家十二人のこゞ

佛山二門のせうさたうしこと
▲ちやさごや▲かぢや▲ちやや
右のくだりに
町こゝまでうれた
まうごう酒
ありやかく
ありの
▲こゝさ▲ちやや
▲中略
こゝ町
川あり
川
町こゝまで
家ども
里ばかり
ありて
川

新町

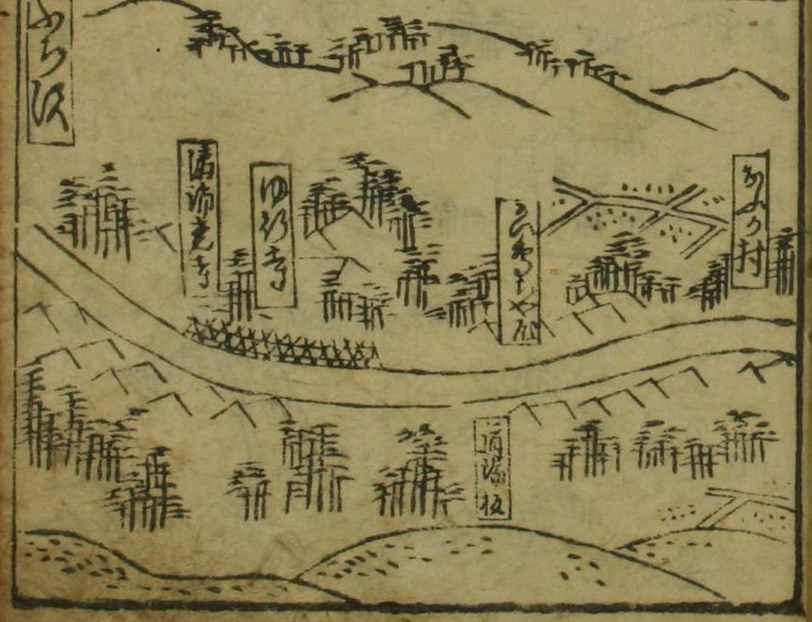
古町

▲えのそのまおや　　の弘あり今にまでの弘
ぞくりのうめり

大いそ　　ふるえ
南あ　　里のりの石宝生
みりこり九十二み人
六十九み　　宝

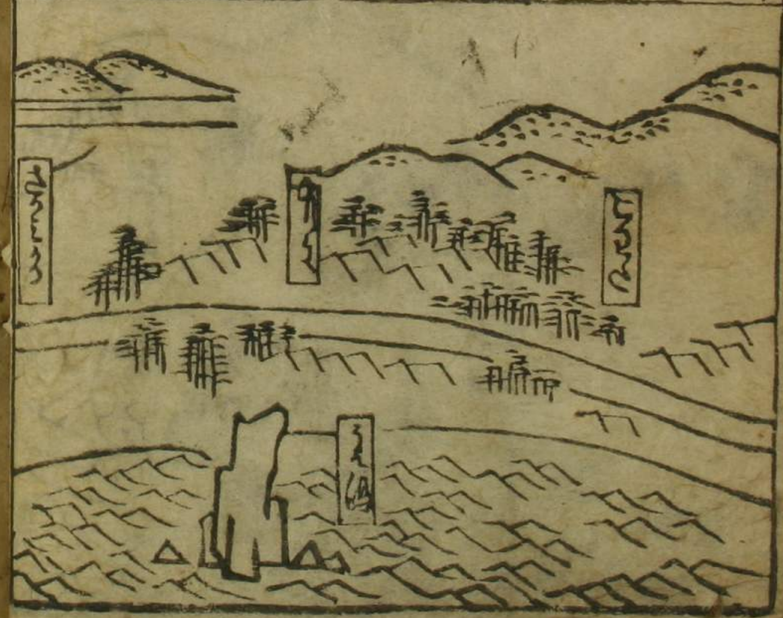
▲町こ　　小いそこ
あの松　　こ　　沢
こりのこ　▲小いそ町ぞ
にこだ　　ありこのこに
初ごり　　石の方に
松ぜこ　　ありぐりそ人
とこぐ　　こ

▲ふりう　　ふるえ
ぞもり町ぐ　　にたや
のこやあり▲かこん町
くりこ　　このこに
やありこ　　こ
ぐいふこ　　こ
本に松あり海こ　　こ
▲梅さこ　　ちや
あるまの弥こそ
こあり町のこ　　こ
去十二り▲あこりこ
松九り町ぐこ　　松
北のち　　こ
さいのこ　　こ
それか松の井をりこ
▲そぐ　　海こ右の方



大うら

▲大さうこ　▲てんぐ　▲さるの
さうぬかた不便ありうりの
西浪花西ふかわりれは
▲ひかた坂　▲ふくこ山寺
ありう　▲りこくうち法のそ
こと西うあり指坂へりのう
すろうあり指坂ぬくろ
りのあり
むしちれ　今分表切ぬ
ちす　うへ寄　今深こうへ
てさりろうさ　一せのあの分
ちあぐうしれうりう
ひたりみくけむすの
つとう川一まうへの寄分
ちこうへ人今深りのくりり
切てこりり多ぬくたきぬ



ぬこうこうこれすぐん切
のうたうち今ぬくしちりこ
ぬあのこすぐうりつさ
こうかめけすうこうふ
ちあぐうこうぬくけむすの
つとう川一まうへの寄分
ちこうへ人今深りのくりり
切てこりり多ぬくたきぬ

やうてくれ　この
一切の都方もまり立上
み底の見へり
うりこの一年三ち時
一ちれむもつこ手不分
あるのこうさ

ふりそまのおれ松をくぐり二町七分ゆきて寺一分
祀りて仏あり
一方きそうれ村のうち
一村のうちをよぶしあり
そばこの辺の流れ
平寺あり
下
多くの寺方大分あるもの
ぢうハ新ぢ院影ハ
金剛王院山号ハ新福山
▲さいのかう▲ゆくさ
こんぐれ山関本当あり
ふりハ仏そ
そ
おきの
ゆきて

衣根

こちや
ほりう

三房へ三里九丁のりみ三百
二十五ぢぐり三百六十九尾
高七丈八尺百幸ゆ

ゆくさ
町ぢう三房の内ぢうハ当
系の内ぢうハ仏九の方町
中におりくものかうきりふ
し仏くおしそごよそ
今九り夜ハこゆりてハ
ぬくれり
町ぢうそうさうの
さうの中ぢうぐわ
▲右手坂▲ゆくさ
九ちやなおりうら

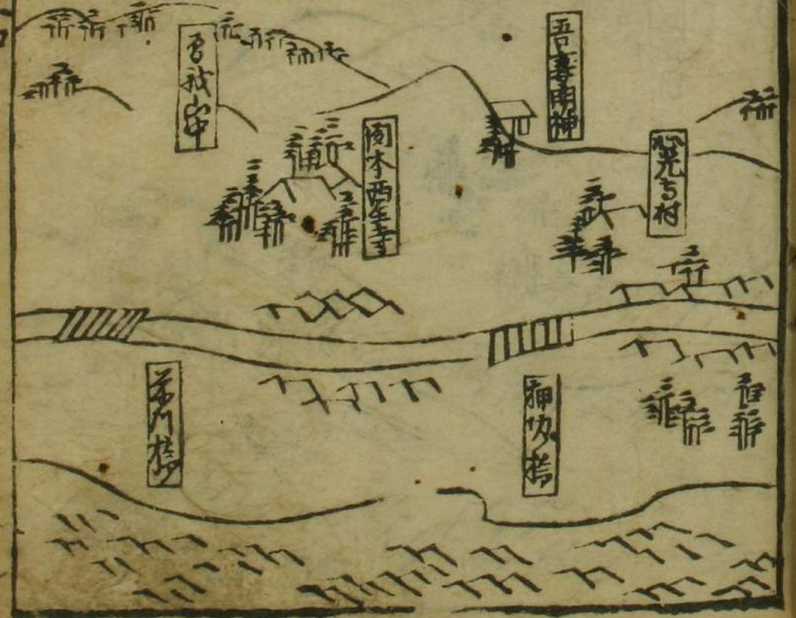
やまとぢ　ごんどう　ふる　ゆき
大和路　権藤　古雪

▲ふる雪や　しるべの　ふきの　とう
▲古雪や　しるべの　ふきの　とう

▲ふる雪や　ふきの　とうの　しるべ
▲古雪や　ふきの　とうの　しるべ

三輪　かうや　ゆう
ぬまぶち　一里半　のうか
奈良ニ　ゆく　二里半　ばかり　みち　有
三十二丁　家　人九百九十九

此處れの方に右ゆく方
郡の中ほどあり。南ゆ
右の方に初瀬川あり。
よの郡のこゝやこゝそう
のさかりの　ちゝ



ところ　ばかり　くだり　家　ゐ　所
ろづ　ほど　右の　ほう　に　あり
づゝ　ばかり　ゆく　ほど　ゆく　ほど
▲すぎ　ゐ　町　あり　あま　山ぢ
よう　ほど　ゆく　ほど　なく　ほど
ばかり　ゆく　ほど　なく　ほど　ゆく　ほど
ありて　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど
▲山王　山　中　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど
ほど　ばかり　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど
よう　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど
山王の門　あり　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど
ゆく　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど
ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど
ゆく　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど
ぶち　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど　ゆく　ほど

▲ここより山本うえだうら七里の海こ
あちんなをたのみ人をたのみ
うけ八百文ばかりにて舟のり
やみびく舟のそく時は
うしおのいのりふせ
ぜ汲しらみてこぎ出
引なとそうゆふ

なぬぞからやうなる
あら一里ほのりけやこみ
うちより北巴みえ人家三北支
ひろ小浜ほんぶり八町

▲ここの町そうれんの方に
あのはれりけり▲ふの方に
六代ゆの八幡ありけりこと

ひろ代ゆの八幡ありけりこと
ゆのこと本ありてかうしのの町ほ
ふひくあつてとうと小
梁町ひろ山ーとそれうろ
そべうとと母うのうそて
ようとのうんぐよ人とれ
うまりんぐうぐうぐうぐ
さぬくれてあぐあらま
ねやまものさけありて
たくくそもろうぐうれ
湯井のこ海ともぐうれ
りんぐにありくっまくこ
のりまこ今ととうり
さ雑やくぬあせわれ
みむりんのこのありて

▲うの沢　▲すぎ町　▲杉の下町　▲うめいだ町

▲そらやま　▲うめやま　▲二里ま町のうち百三十ばかりあり　▲ふかみ　▲ふかみの名所　▲ふかみの観音堂　▲ふかみの根ぎり　▲ふかみの名物

▲新田の不ごうきそくき　▲あらい　▲杉のこまつ　▲杉のこまつ　▲杉のこまつ　▲杉のこまつ　▲杉のこまつ　▲杉のこまつ　▲杉のこまつ

さらの嶋

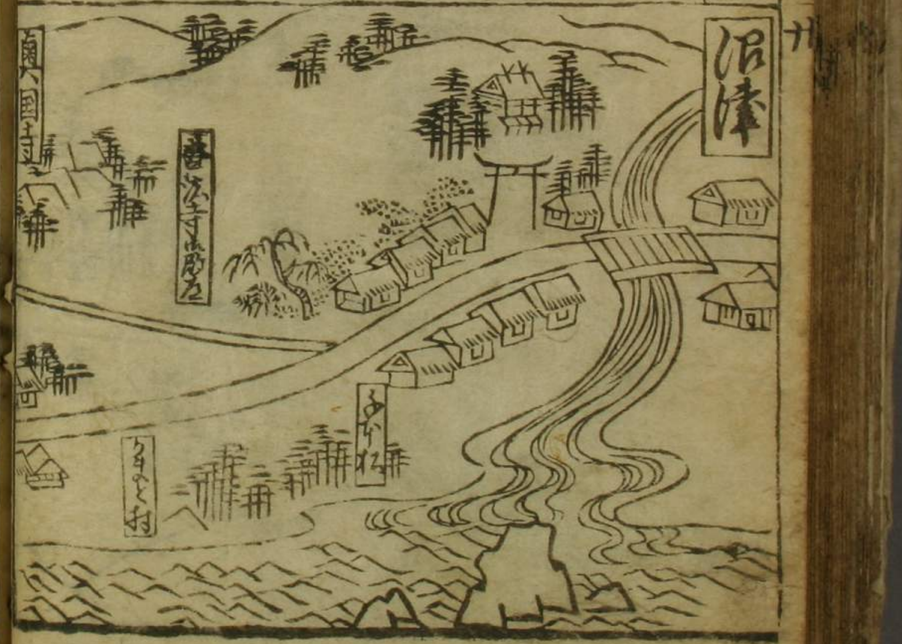
宮中寺院
古城

富士の嶺
一橋伊豆守
かうろの孔
伊豆の中条
ひろうこうじ
やろく坂

三ノ丸
ろうそくの坂
あかとの

山王ノ社
下中村
本郷ノ村
カゝガ川
日ノ出

長沢
村の入口


沼津
興国寺城

沼池
大平村
松名寺

右の内二十丁みぢかし
ゆきまで往来そぐらへ海
辺りてめ八百丁みち内十丁み
いこ茶屋そこれ〳〵ゆけば
あらん志ま十丁みの
つとりけ〳〵ゆけば
ゑんかいじ▲ここから松太
うなり▲ふきこあげたこさ

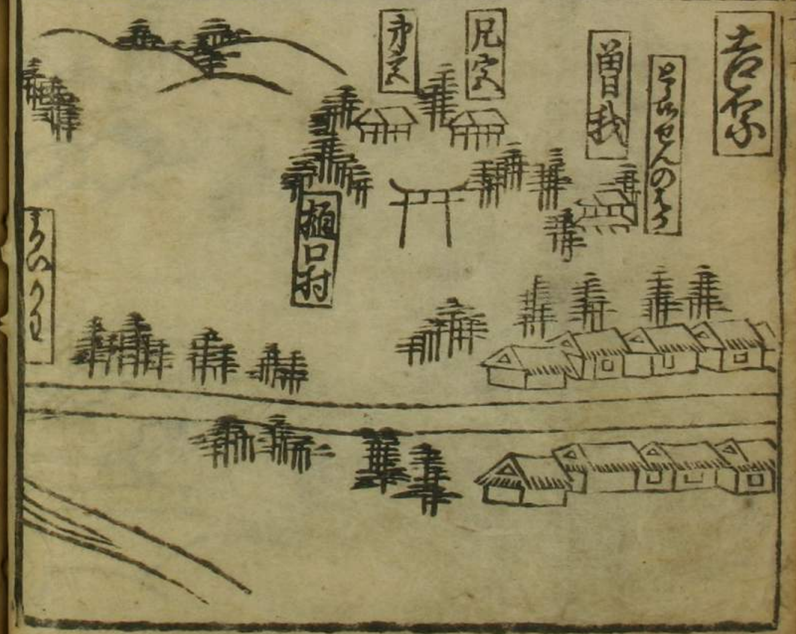
えんかいじからのやたりう
ゆい二里のりけ此所ゟ
うまり九二丁ゟ二里
にて今えんかいじ此所
えんかいじにはうまやあり
あしこれあるけのこし
人みい家とりさびしき

うねびもそこごとうそか
下ごいそこのれい家の
うらにそこのれいなるをとう
らんとりけでゆどり家
のとうやよ寿門をいひく
らうやのくれをとり一里
も二里もいきのざいそ
へをうりにゆくゆくは
ゆうくこれらうやれ
わしさゆこし▲仁殿太こさ
ての山よりれの外のゆ
ろあり▲たいこれやさし
海し此井かんこまでハ
町つきこ

ゆいかうのや

あさ川へ二里のりうけ
百七町みつもり七ま九分
人ろく序江戸より此宿迄廿里廿丁

わくまつ」の松并右よりゆく
▲ゆい川▲さつさそうげ
のふもとあまでもあ
まびをうたうり
▲あやふ〳〵ゑ▲よもぎ〳〵ゑ
ゑの方ハ山そそる
くだ八ゑ海し海ぞさを
一ぱいにうたそうら
ようすう波たこがりこうら
ゆく〳〵こゝにわこをそう
ろんくいこまうく〳〵ゑ
歌もく〳〵ゑ
ゑ方ハ山そそる元年



そのれいの九月八竹野舞
まち役宿ゑ
ゑのとそうろうそのの
ゑ方をそうろうそうろう
をそうひくそうひく
海たこがり
今ハ山その風ゑ海
こゝにこひろく晩をも
ひくまわりうたうたハ
ひのひろくたく右ゑ山
そびくつきそ海そら
わまの松しまづらぼよ
きぼりかりゑ八ゑ
こをふうひくこうそうぬゑ
つこねこれあぐりひく
おそれそうぐひん

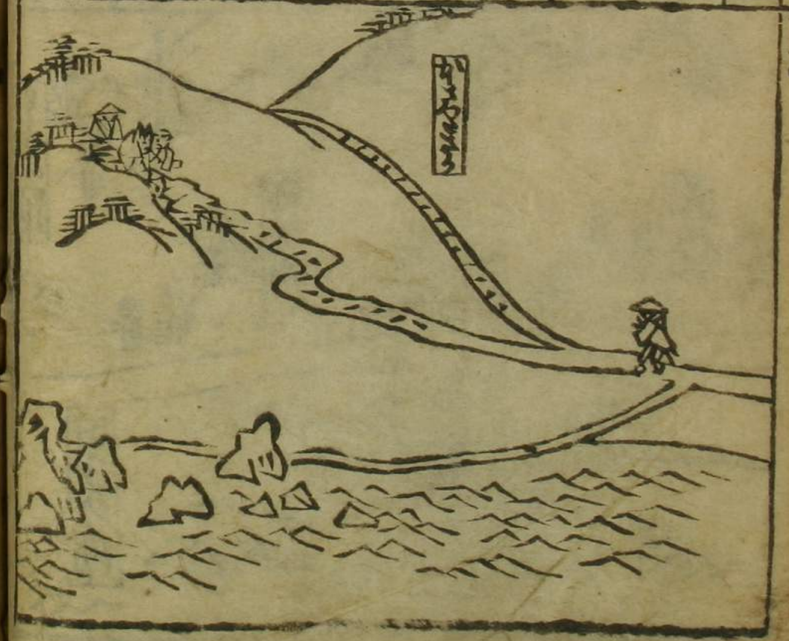
▲奥澤川

神奈川

上台町
神奈川

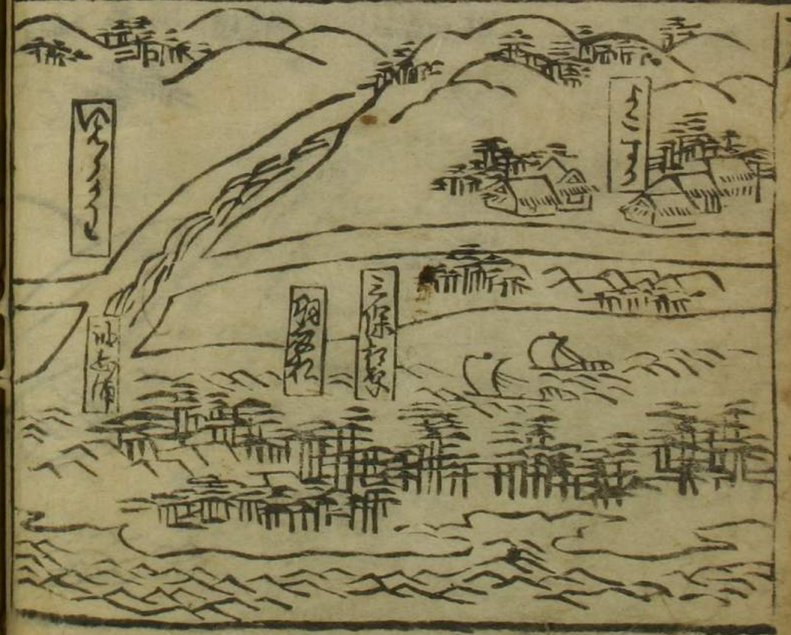
池野
名主屋敷

田子の浦
富士村
富尾村



清見寺
清見関迹

秋葉



清水寺　さやかたより二里九町のうへ
ひがしやま　百二十丈ほどの山なり　春は
あけぼの　花の雲　夏は　ほとゝぎす
秋は　もみぢ　冬は　雪　四季ともに
▲清水の舞台　八間四方　高さ十丈
▲音羽の滝　三筋に落ちて　其水
のむときは　寿命長久　諸病
▲阿弥陀が峯　東山の内　清水の
うしろ　ひがしやまの　てつぺん
▲地主権現　清水の鎮守　祭礼
三月十一日
▲子安の塔　清水の門前　茶屋
茶飯の名物　あり
▲経書堂　清水の門前　茶屋
▲地蔵堂　清水の門前　茶屋
▲阿弥陀堂　清水の門前　茶屋
▲六道の辻　清水の門前　茶屋
▲六波羅蜜寺

ようてだいめう〳〵六十ぶつをいたゞくゆゑんごとくなり

▲ちうげんにはざりだうあり一ぢやうの池堂あり一ぢやうの池ありて弁天をまつりあり此所にて

おうべの　ちやや

うでおうべ人家百九十六ケ所ありこゝより東八人見二十四ちやうの町▲ゆるぎ谷ゆるぎ谷の町▲ちうこ町ゆるぎ谷ちうこ町にあり

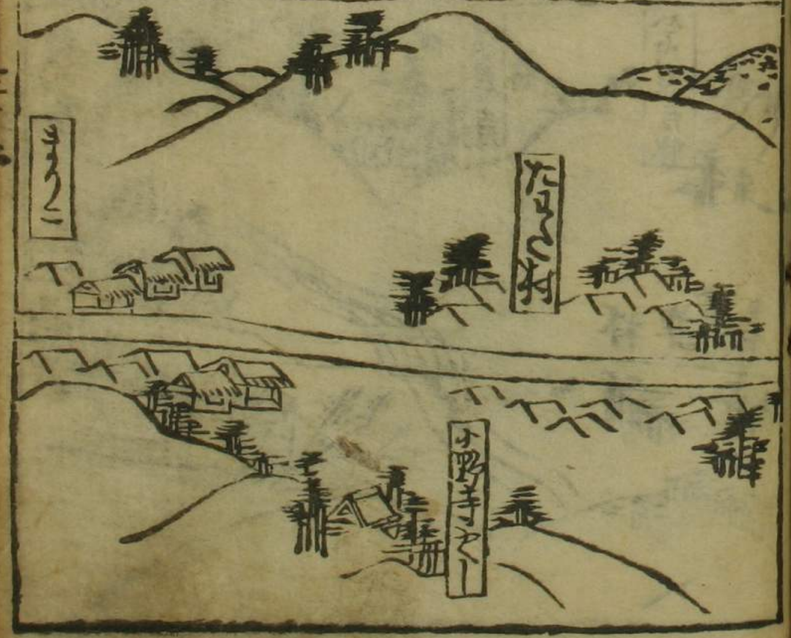
いまのところ、此人家ありて百九十六ケ所ありこゝより東八人見二十四ちやうの町▲也とゝろ飯ありこゝのうどんこゝろのよろしきところなりこゝもとゝろなり

ふぢさわ　ちやや

ふぢさわ二里のうち半ばかり家一ぢやう家七軒

海たいりやうなり▲ひく石など在の方にあり▲此所ふぢさわ川と也ところにてうどんとゝろなり

▲右の方一町ばかりに
松原ござる
▲すべて此あたり
田中の駅成



名子

▲此のあたりの家町ありしやうなれども今は川と八

うのや

うのやより名子へ二里のりみち而

▲此のあたりより二川へ二里

うのや

此川のうちにて名物の鰻をとる

今切の渡し

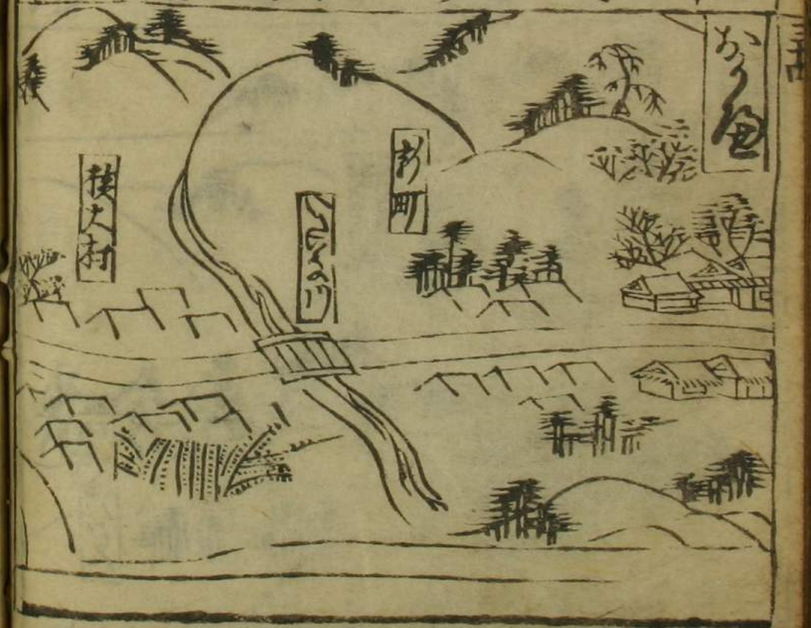
時

昔南陽驛菊水汲下流而延齢

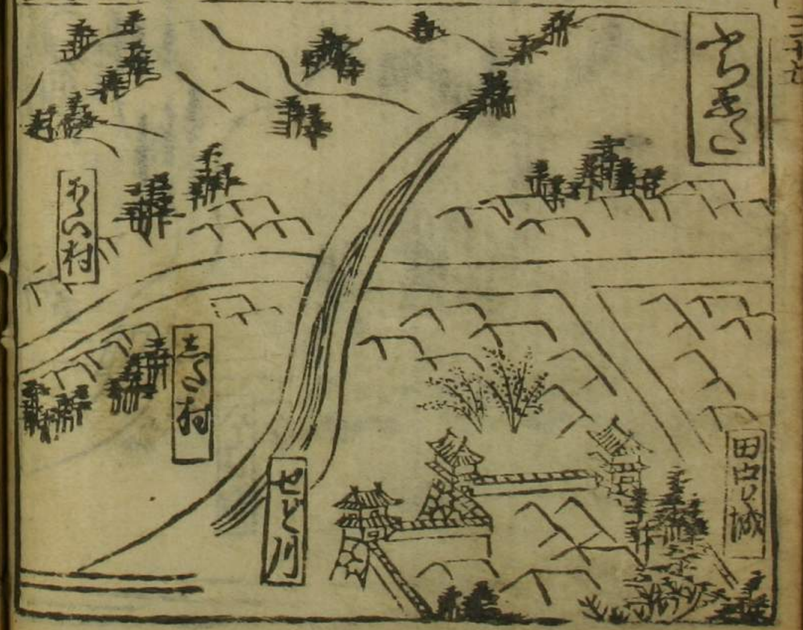
今東海道菊河宿西岸而終命

西部
西行牧
不動
ゆるぎ石
うの
比叡堂

みちのく
関
ふくしま


おう田
新町
横大村

浜田城

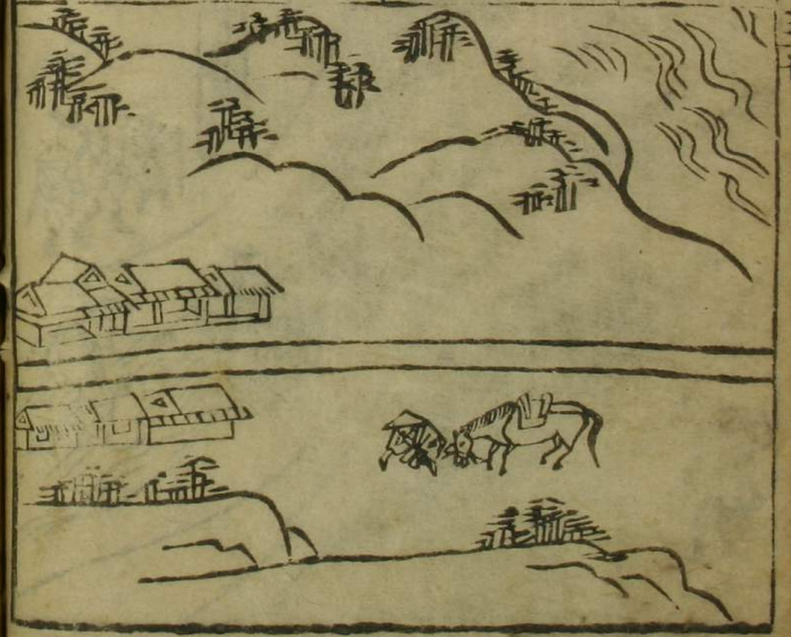

田口城
七尾川

▲藤枝 ▲瀬川

大井川

▲嶋田 ▲金谷 ▲日坂 ▲掛川

甲州ぢ道



功徳院
皇圓
トモ云

新坂

名川
秋田村

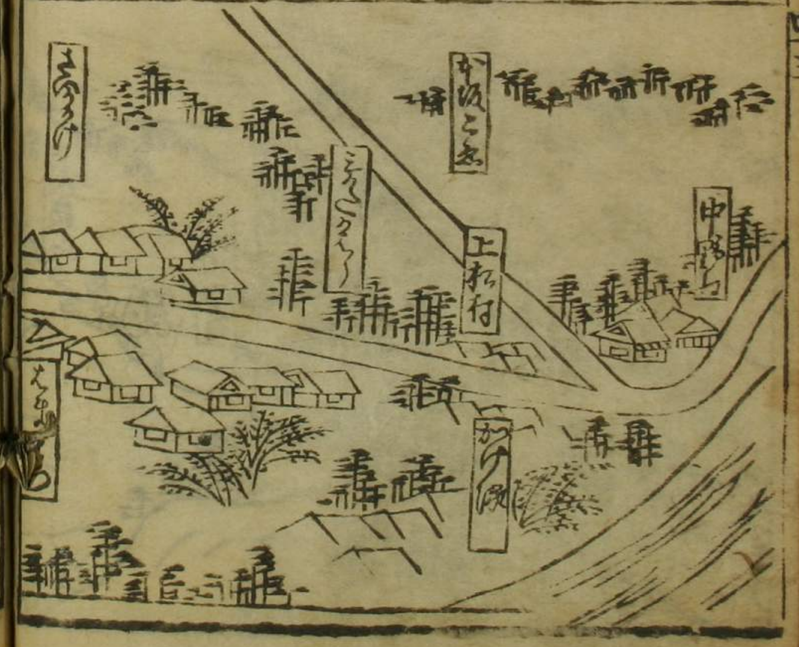
名川村

そこより杖てかわり
▲村▲町のそうもと
右の方にそこのりうり
▲村の右ハ方に
杖よりそれより天王
の中ろあり▲うへ杖村
へあり▲うへ杖のへ
とうりの名所とこゝろ

そこより杖村
ろやりうろ
ろ
ろ

中泉
國分寺
御殿
八幡宮
池

池田の宿



志ひるが

ふる川 三里十二町のりや
七十九丁 ふり戸七十三丁 宝永二年
ふる川へ 二里十六町のりや
七十九丁 ふり戸七十三丁 宝永二年

▲町ごとに水こはきゆえ
のくちうつ山ふもとより又坂
のぼりくだりのあまたあるなり

ふる川

ふる川へ 二里十六町のりや
七十九丁 ふり戸七十三丁 宝永二年

▲町ごとに水こはきゆえ
のくちうつ山ふもとより又坂
のぼりくだりのあまたあるなり

ありちやや坂もあり▲つゞき在の方にいまにぎやかなりうらさびしきやまあり

高岡からのや　高さ九丁

ゞ（二里廿九丁のうち）

八十八町うち九町半八木ふく

（寛文の高札七十三年）

右に勝手次第に書家敷取ル

▲高岡町ちやや在つゞきなり▲よう山の橋七百廿九ありこれより山のかみをのぼりていやうに坂くだりてこのるに大橋ありこれにてたかおか

▲三百歩のち▲小坂井

▲町はづれよりうちわろく町なり一里十八丁あり▲左右八大木ふるくしげり▲大宝寺有よし其門ふるし

▲大宝寺前より山ふかき谷川

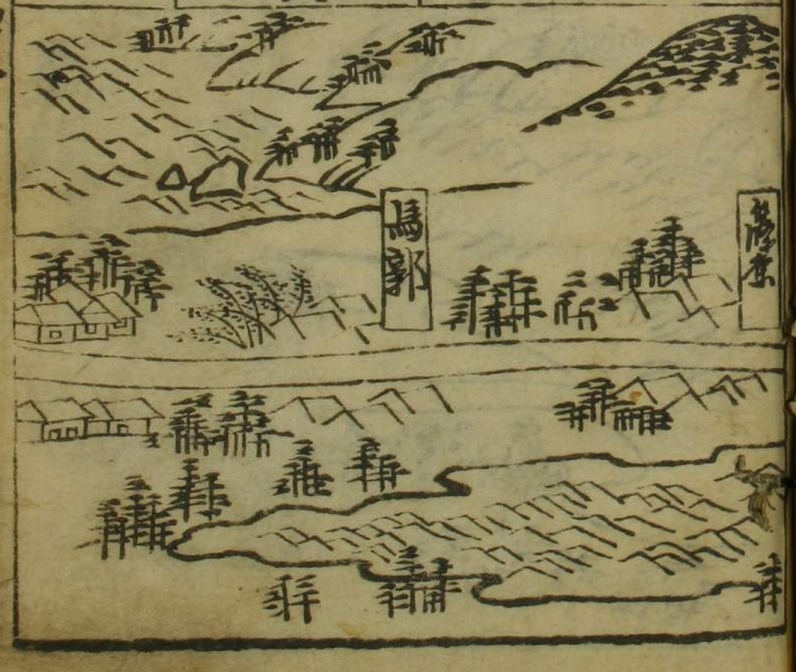
ごのかわ

ごのかわ　ちやや高

あり在ゞ松高岡のうち十八丁あり一ツ家ありこゝにて

ちやや坂あり一ツ松のうしろにて

ちやや坂ありこゝにて

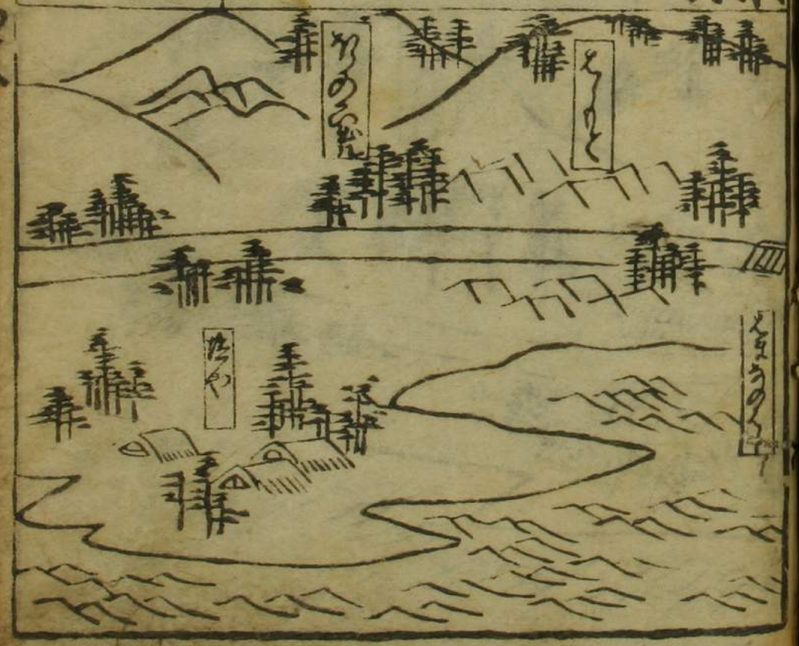


箱根

おうばくら　こうや　高野
おうば川へ二里九町のくだり
左右ともに山
左右ともに山
左右ともに山

川さくらの名所二千ヶ所と
▲矢とりがわ 松もちかう二百八ヶ所
ありしが一八ちくと洪水のため
ゆくえしれずとなりぬ
▲ふなばし 利根川の下流にて
くれ両まち繁昌しゐる
▲ゑどやくしゃ 西やくしの
方田のかんばしゃぶ
あり
▲ゑどのにしの出ぐち
のやさしきをゑがく
▲ふなのくち 此ところ
にて舟をあらためる

りうこうをうそばかりうりて舟をとめうつ
うせらりしてうりて
舟ゆくさきざきのやど
▲ふしみ 伏見のやどやなぎ
▲ゑどの海ぎし ▲今戸
ちやなぎ
▲ゑど 田
▲海ぎし 名所里ざとりの
の方に八くさの向ふを
もうりうへやりそこに
くもそのりをたれ八
りうこうをのうりうれをの舟
よりうりうの舟


ちのこがは
そとと
ふちや
そとうのくち

東福寺
御殿

▲中略

▲天つそら寺なんかん堂あり

三十三ヶ所の札所

寺の名は補陀山

▲右の方に他人堀あり

▲右の方に七里

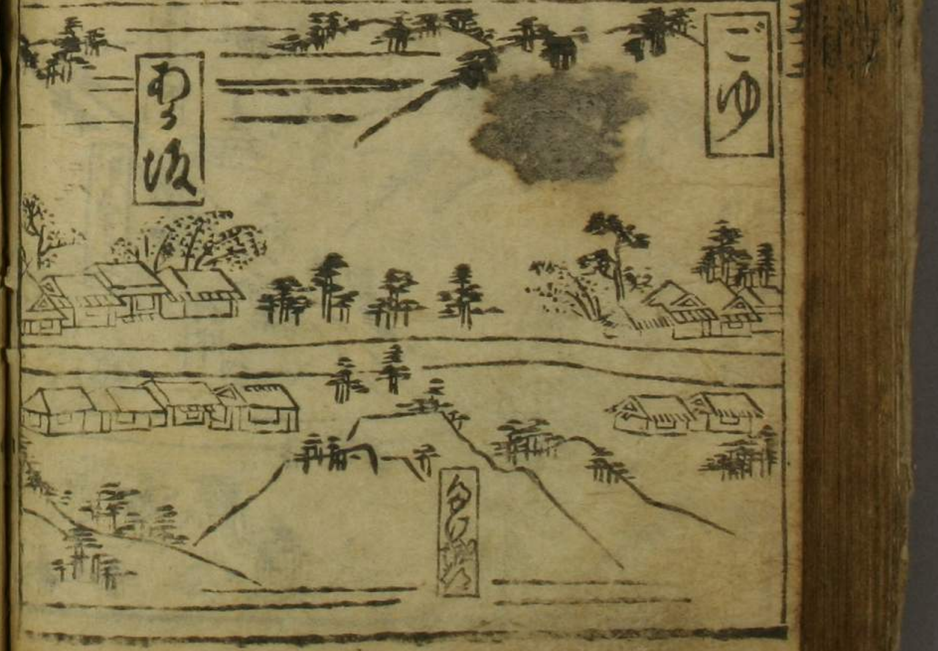
以下七里余流しより
舟路なし宮より今のりけ
里六町　今こそ道あれ五町
あり　有馬五町　ゆもと
馬五町
▲三人ぐち　八百歩ス
▲三十三人代　百三十六町
　合七粁五百八十八米
▲武人分ごと粁ス
▲宮まで人代六百十九ス
　合七粁　七百十三ス
▲六人分ごと粁二百八十八米
▲武十三人ぐち六百八十九町
　合二粁九百三十二米
▲七粁余の八粁ス
人まで人代一粁

▲のりあい人なし
徒歩なれば人なし
以下ゆもとより
うりもむれ川のそ
ふくまでみち
かれてしまれ
しきれいまわし
てうつくしき
うつくしき
ひろうらんばかり
ゆもとのうち
けうりあり
▲三里ばかり川ふたつ
ありて京都に
四十一粁ス　▲九の方に
流れて行

高師山

清水寺
八坂の塔
祇園
四条河原
高台寺
知恩院
円山
八坂神社
建仁寺
大和大路
祇園
下河原
建仁寺
八坂の塔
清水寺
高台寺
円山
四条河原
知恩院
大和大路
祇園
下河原
八坂神社

吉田
吉田
大井
小倉山
大井
小倉山


ごゆ
ゆ坂
多郷

ゐで
弘誓寺
岩沢
天路山

右之

牛洗川

田端

太平門

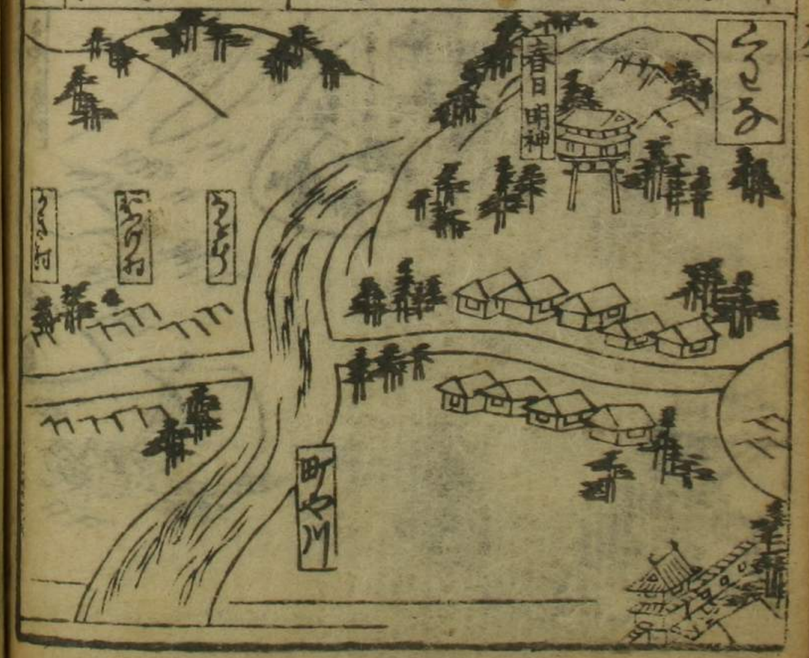
古田村
今村

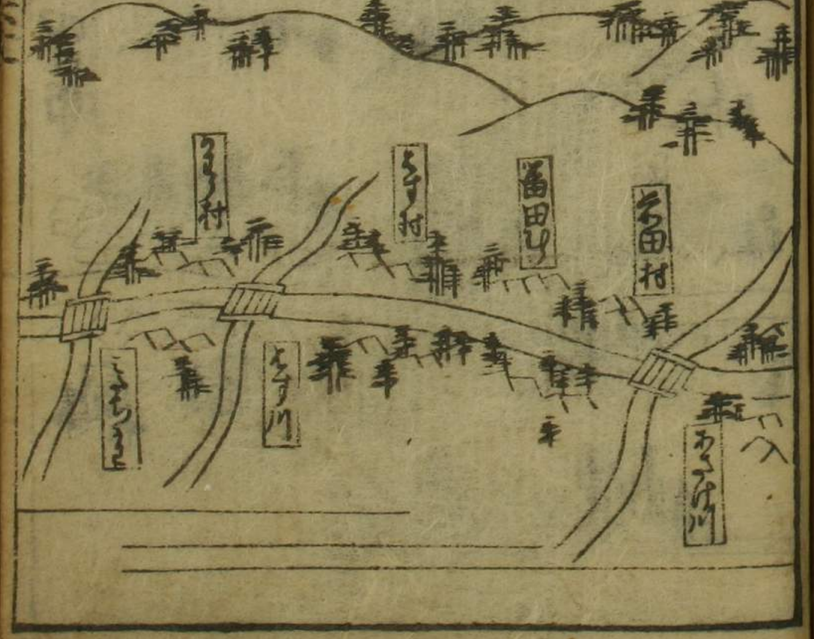
文殊堂
あのり
さるが
御殿

あのり
今ぐりと
さるが

大そうじ
天王田
天神橋
鏡堂
皇子松
皇子塚

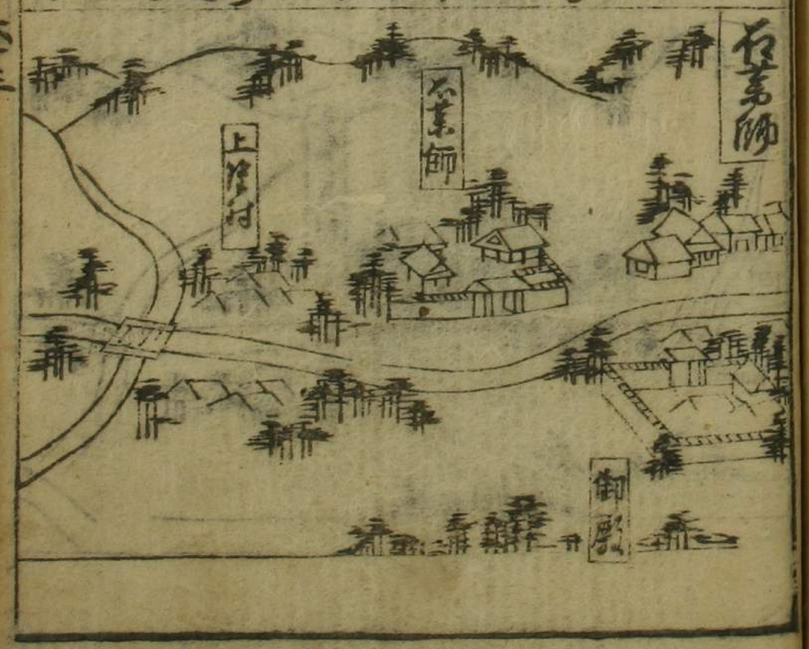
弘法大師
天神橋

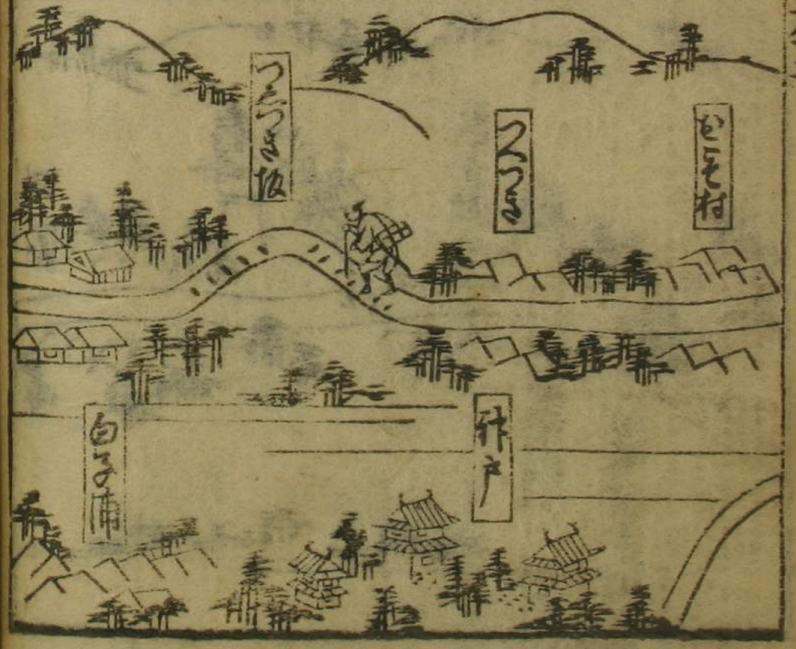

春日明神
町ノ川

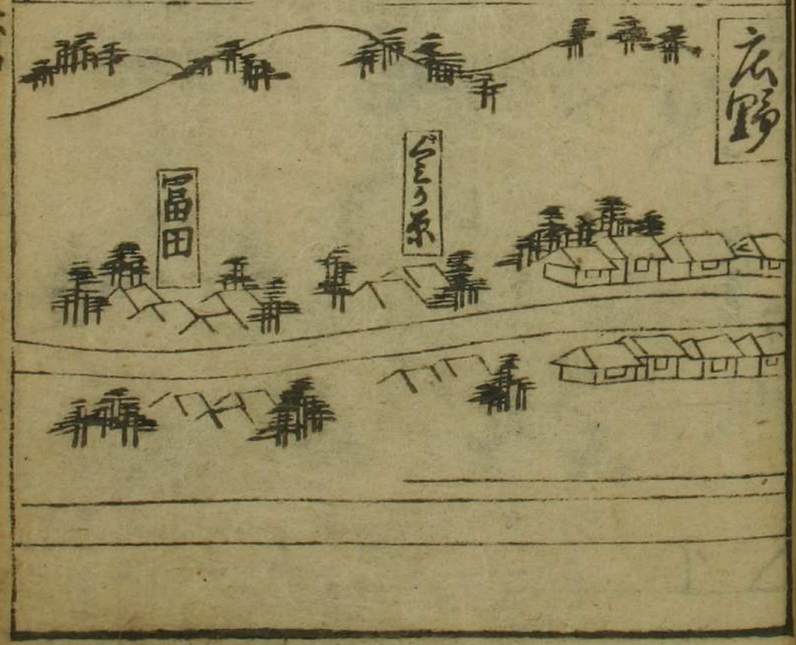

村
村
田町
田村
川
川

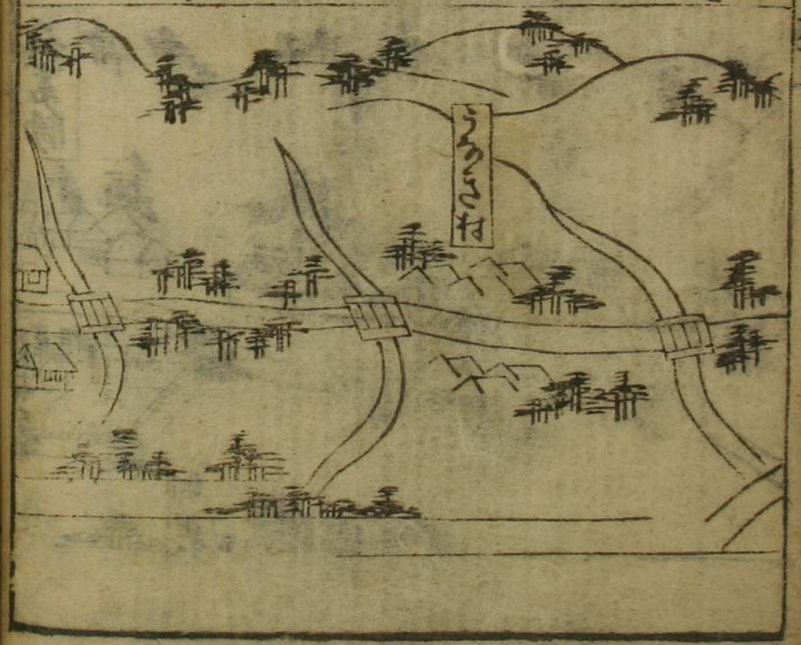
▲このせんどれの方にたおりうせのかるよりうねへ
ばし　▲うめいむら食
ぜまで三百九十七間あり
▲たごむら　▲新町　合
うの山のほうをめぐりて
それよりみの町つづき
うめやまかうや
ほくり
せきや　一里廿四丁
三かう　ちり北立あり　合七七人
家合のうち百卅壱戸
ちゃや　本陣　脇本陣　旅籠
あり　此所にて城のちよ
ほうこうまたのりかえ
なとあり　此所より北の

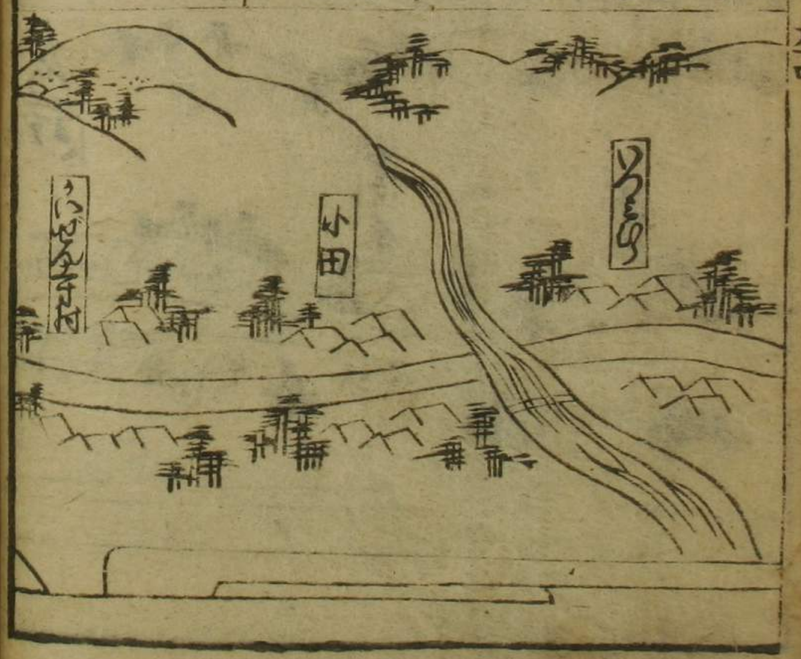
方にて川あり
▲わたしうり村　せき川
▲あの町はづれの方に
なおの神うの山とうり
うりとそふよりうりも
▲関のこちく入口に追分
ありたの方へゆけば
たかまつ　いなべ
▲こゝを関こゝをそうハ
いふなりお伊の関をこゆ
ありすぐうの関いせ
ちかの国ふるみ
うりをこゆるとふるみ
一そてなをこゆるとふ
ちかり家六七十軒
の宿うりとくいひつゞ

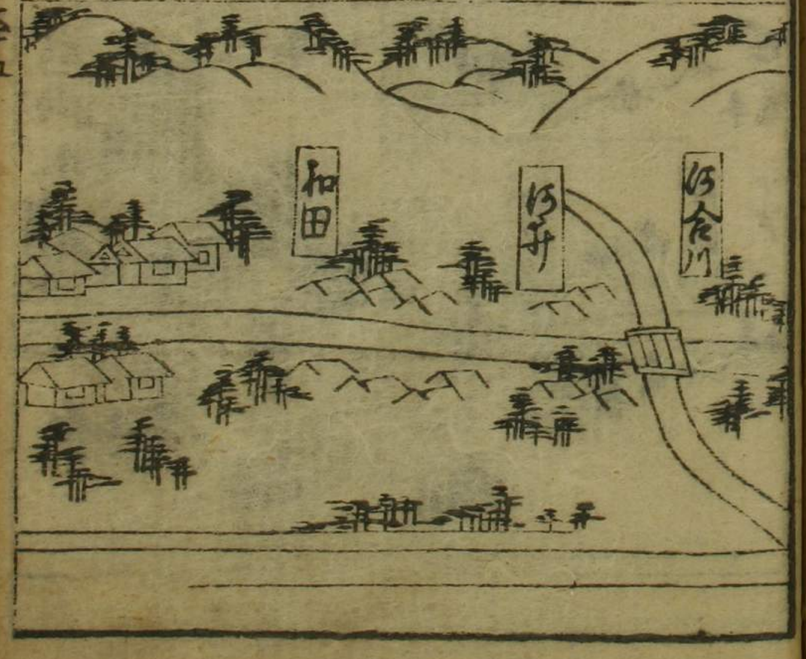

石薬師
上野村
御殿


つつじ坂
つつじ
白子浦
汁戸


右野
富田
ぐとう寺


うつさ村

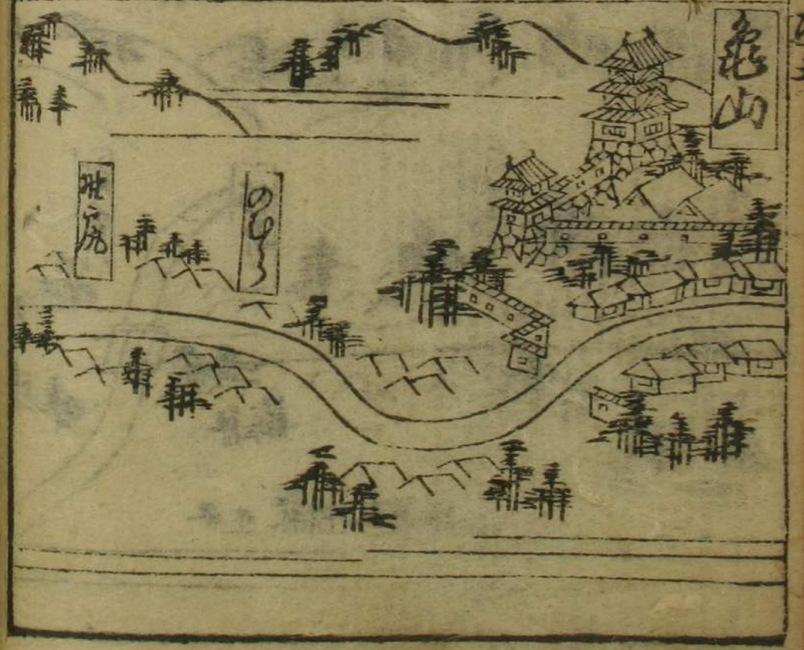

小田
いばらぎ村


和田
行井
行合川

▲三河うけひの山　▲鳴ちの原　宮ゐの八ツ橋　ゆきとかりてうつす名所

坂のした　からうや　おりくのかりくの
つらゐ　二里半ほどのりうげ　日吉　此人丸　日吉　此人丸

▲ちゐのしめうらうらさすものうらに八坂のとに川をれてふゆくに川ぐさとりつゞきてゐるところをかの（少年うらつゞきうらゝかにて霞もうすくうちかすみ今のこゝろゆくに八坂うりさ



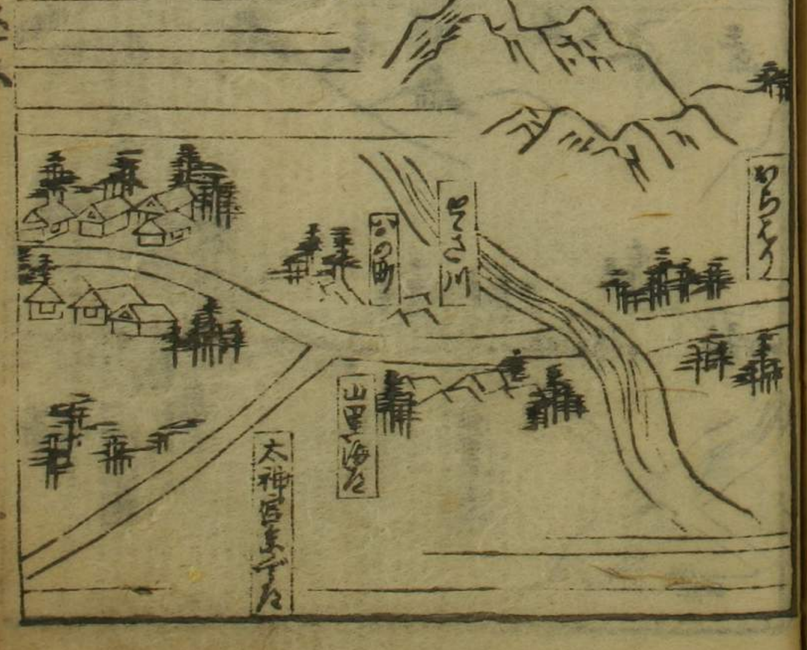
七八町ゆりもどりあり

▲ゆきまつ　すゝきの原にすゝきのおほくおひ茂りたるをいふ

西行法師

すゝきうゑおきてまつとしもなきにたれかはあきをしるべとはせん

▲世をうぢ山　世をうぢ山　ひとりゐて今こそわれ　▲宇治の木あり　宇治のうぢ山　世をうぢ山　うぢ山　世にふるもさらにうきよの山ぶかみ　天照大神の御母うりとや　よにおりうめ　そのかみ　天武天皇　小夫人の御ふる



西林
一酒川

伊賀道

はなの下
かの坂下

山中村
いせあこ
田村
さるの馬場
まつの山せん

▲なるもり村　▲のうちむら
▲さくら村　▲大のむら
▲向ざわ　▲ちる川
▲さとこし　▲ちんざい村

ちんざい

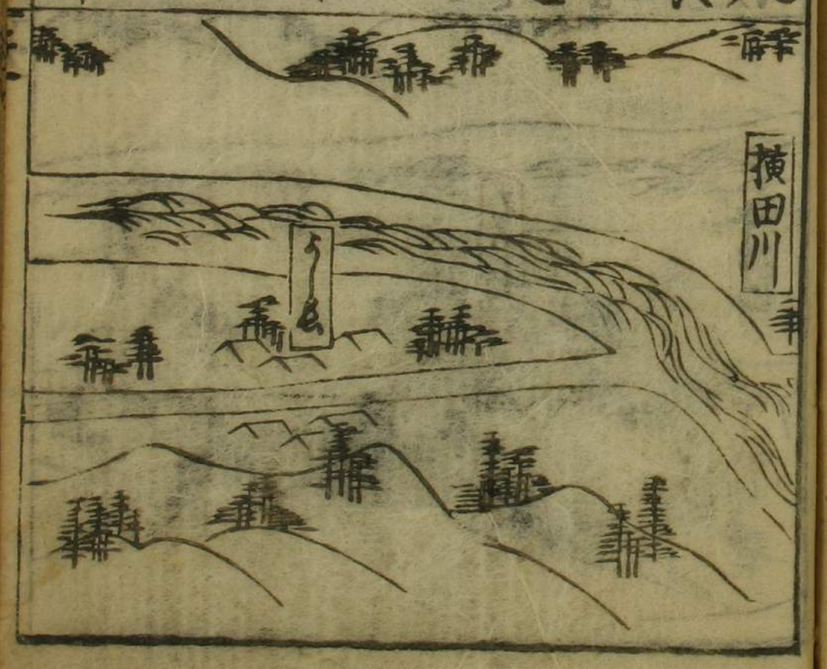
ちんざいべら三里半南の方
百十二町ゆくとり十半み倉
野にありの江戸より四百九里十七丁
▲江戸より道ばらくり
角ちくさりれ出てみ
ちくさうふ▲ちゆんれ
みれにいたる三ぢ半山道右
のがわにゆげだうんぐん
だいあり大聖寺とうたく
いりくへ南をさして甲

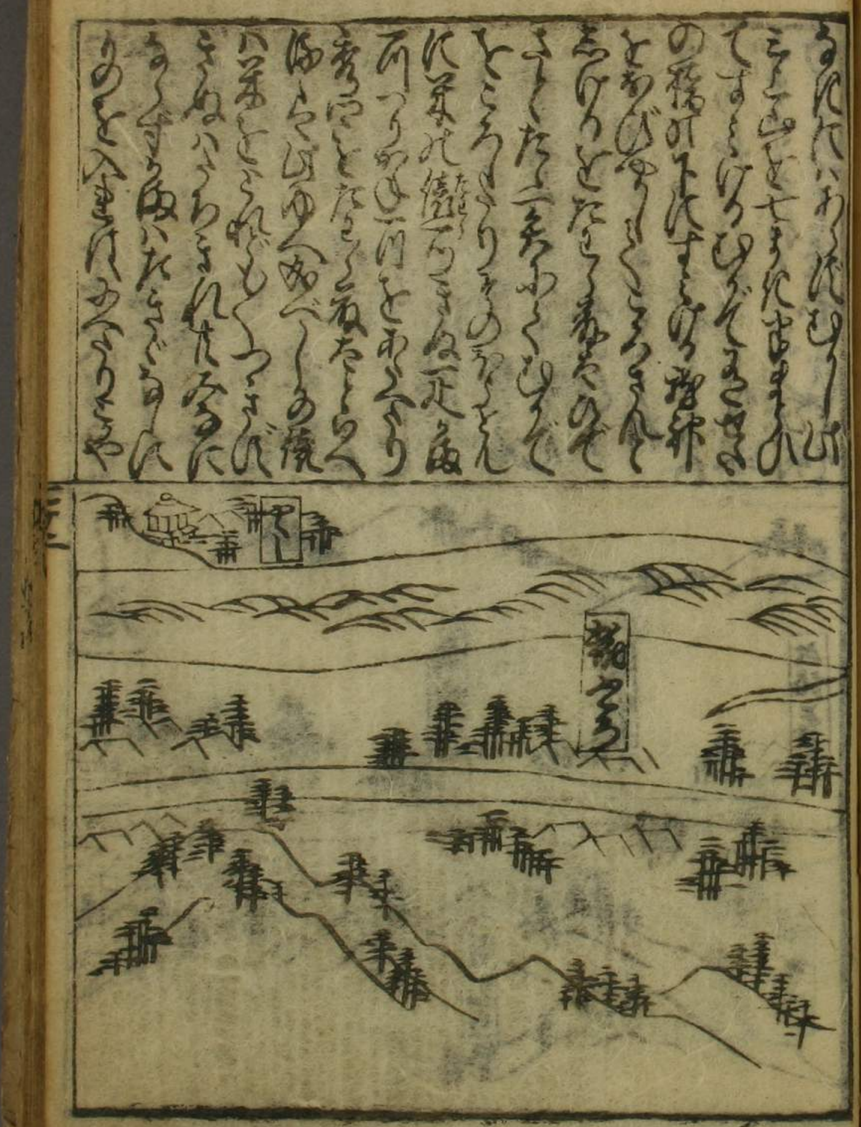
賀州よりこの宿迄三宿
日三宿ともて先ず三人ま
つて山よりおり麓とろ
して世と湯うそのうそ、
あり何こんまでてけるこの
ものさくらけ山ふもの入ぐち
山の神たちやのうちに
あるまで一ぢり先ニ小な
うれくみげうまし三宿
みこうでおり神とたる
てつかうの花とゆうろ
ね先ニ人家とうんざん
こげのていりてこの宿を
らくくうそくこのぬ
ちれもこの宿迄ぬりく
らちうらにてこぎやれり

永白人
姥ヶ嶽
杉屋
今宮
観音寺

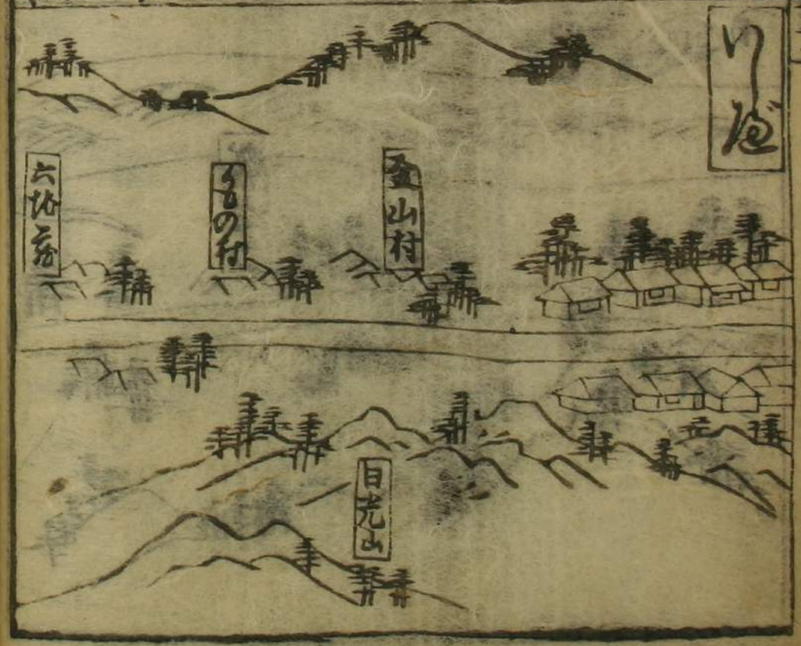
立山
今宮
市場
茶屋
松尾川

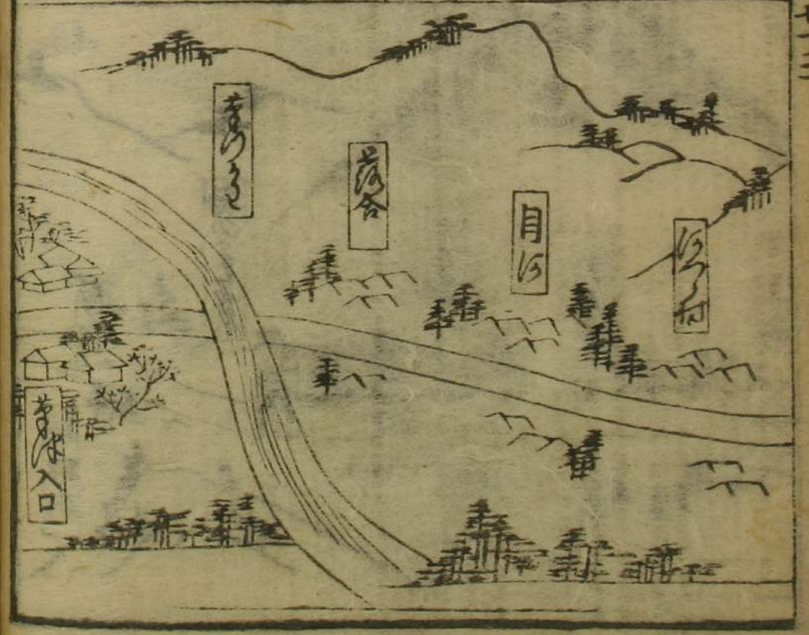
水口
八幡宮
和泉縄手
小幡村
御殿

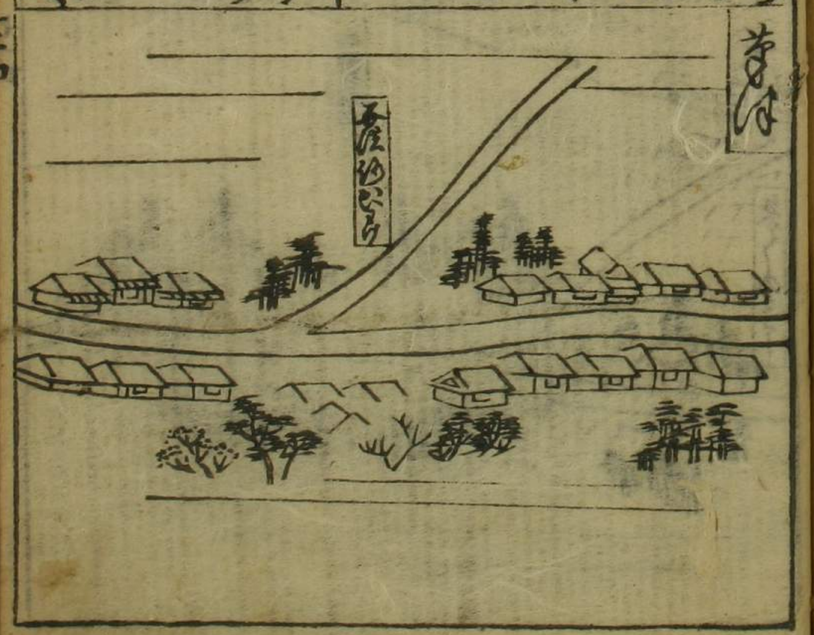

横田川



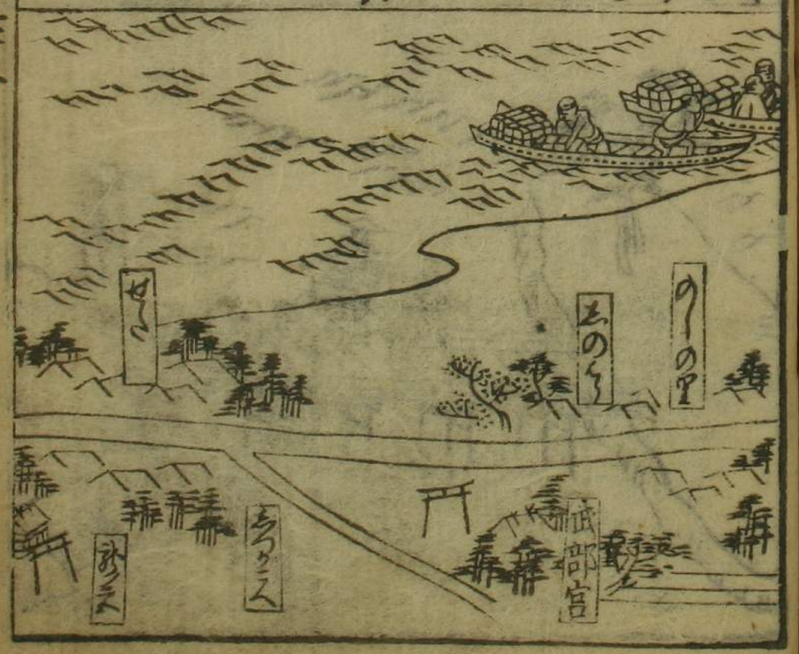
三上山
小野町
梅の木茶屋
うるう村
ふるう村
浜路山

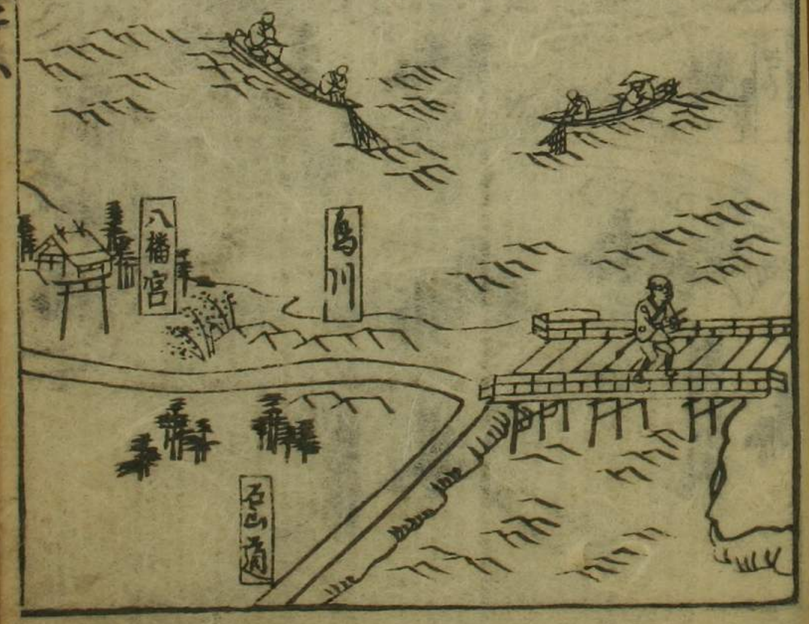

六地蔵
うるの村
金山村
日光山

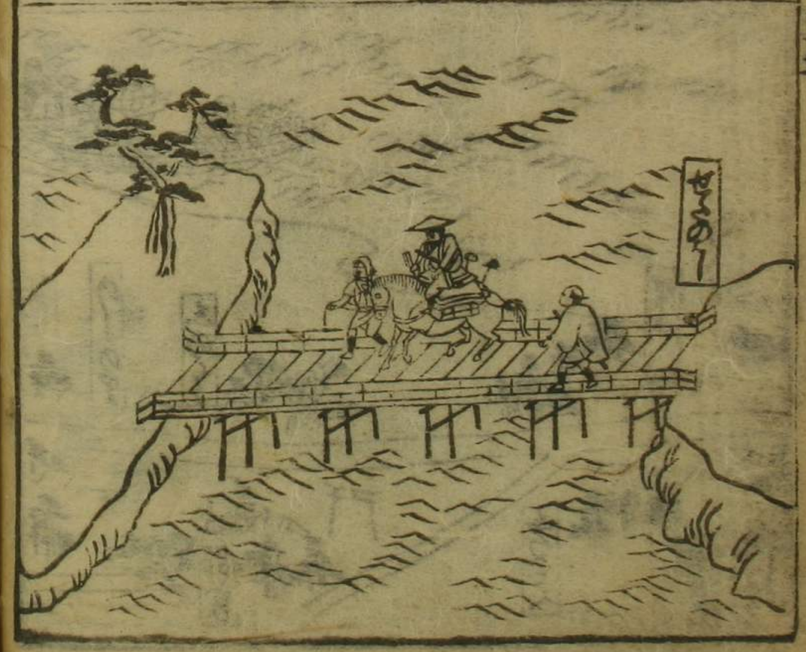

まつさき
谷
月ヶ
入口


まつさき

月もおもしろくゆく末空と
▲右よりも左もおもしろくいりあひのかねもきこえわたり
▲大きなる川一せんこゝに町をなしこの岸そこに水辺の木立みどりのこゝろよき山の根をみめぐりてこゝに百本ばかりもさゝ竹をうゑつらねてこゝに
より右よりさまざまの景色
海辺の松ばやし茅葺の小屋ありて世をうしとやおもふらん
宮川の岸にあまたの舟ありてそのうちに舟人のいこひ居るもあり
ものうさ石山かいみえわたりそこに秋風の吹わたるこゝろ
ひそかにおもひやるべし
松ばやしのかなたに二本よりて亀に向ひあゆびくるこゝろ
まり見くるしくこゝろのうちにおもひやるべし
ものうさ石山かいみえわたりそこに秋風の吹わたるこゝろ
ひそかにおもひやるべし
松ばやしのかなたに二本よりて亀に向ひあゆびくるこゝろ
まり見くるしくこゝろのうちにおもひやるべし

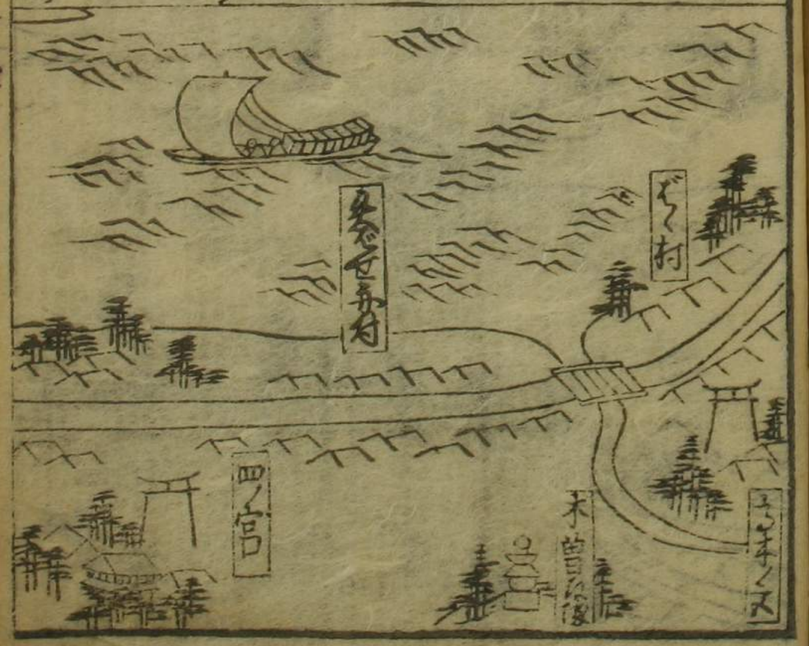



八幡宮
鳥川
石山道


せきの戸

上ゑの門流のあたりより
さがをこえぶかき石ひやうたゝ
つゞらんとんよいのりとげ
なり八月十六夜の月こ
すいようつくることこそて
水をめぐらし船しり船
あり七ゑのまをかゝ
えつゞりしとうや
春来也林
かすみこめやゆんしうの
うらのこりの松の春月
▲右よ八まんえんあり松
原あり三囲りゞゆりて
其のこう田の中に今井の
宮あり此あたり海あり

▲弁財天の社のえんきよ
此社ハ三弁寺持ち
ちもゝ寺ハ此ハひえい山
の別当なり此のまへあり
ひえのやうにて今ハ
すゝしき処なり
此あたりて
海こゝのえあり
ひらめ
河大
師ゑんきよ
とゝ
ばんぢの
王今
てゝ
ら
あ



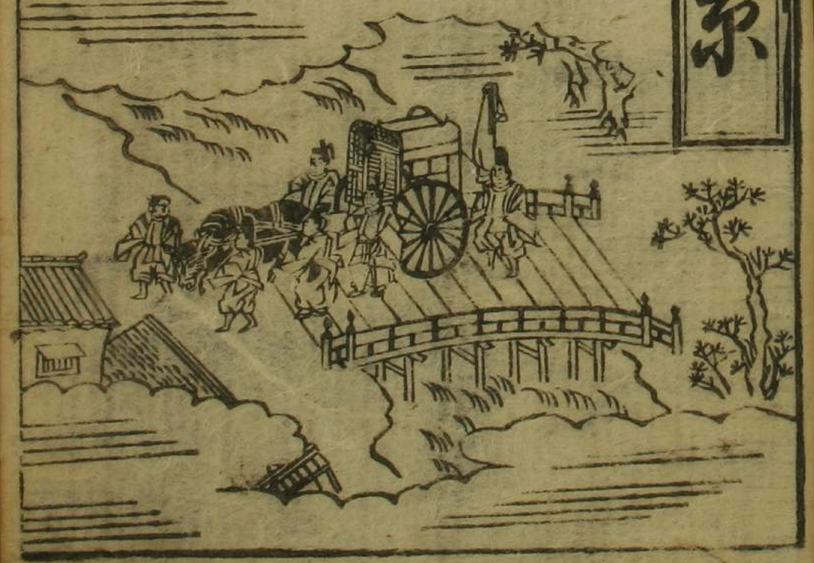
横川
天が浦
久保

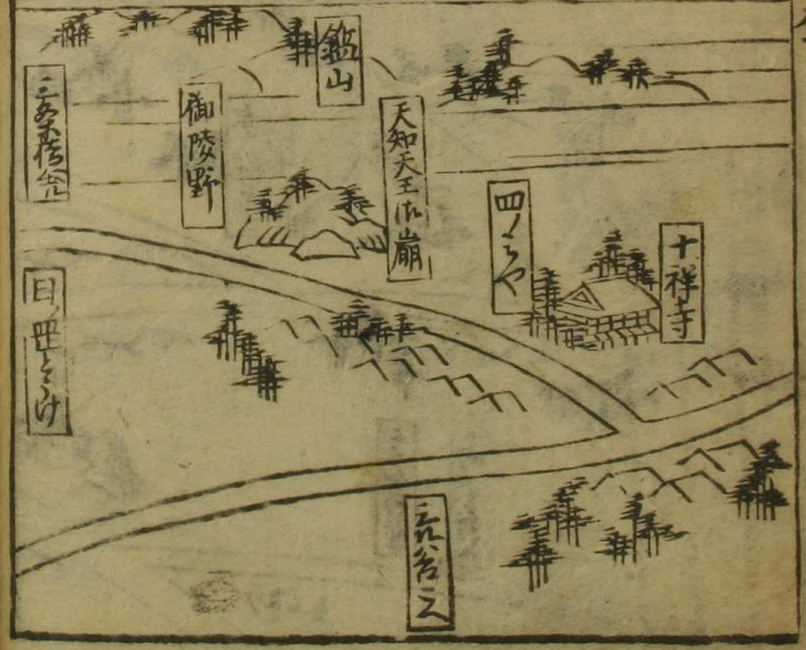
四明岳獄
三井寺

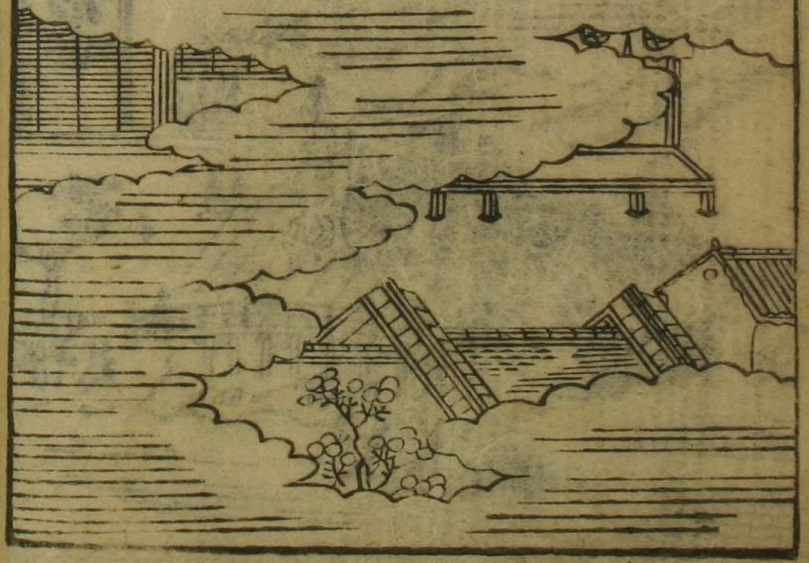
西城近江うみ

▲杉本村をわたりあり中町筋を南へ一里のよこ道にのぞむ▲三町筋右のよこ町にのぞみ▲札の辻右へゆけば三井寺うら山をへだて等持院寺領にて門前に人家あり▲法輪寺▲法金剛院▲仁和寺の門後三百間ばかりて山あり▲うづまさいわ清水八幡宮▲千本かうのもり▲しるべ石▲ごしんのみち▲ふるとら石▲石の鳥居にふるくさのひろり石あれどもうけて三ところのだいじんぐうのみやゐ▲とうかの社▲ものべのひろば▲流いなりくさんみち一羽のうぐひす▲みそぎ川▲うづまさ寺にのぞむ▲川あり▲ごしんとうあり▲その北ぞひ天神▲天武天皇お統天

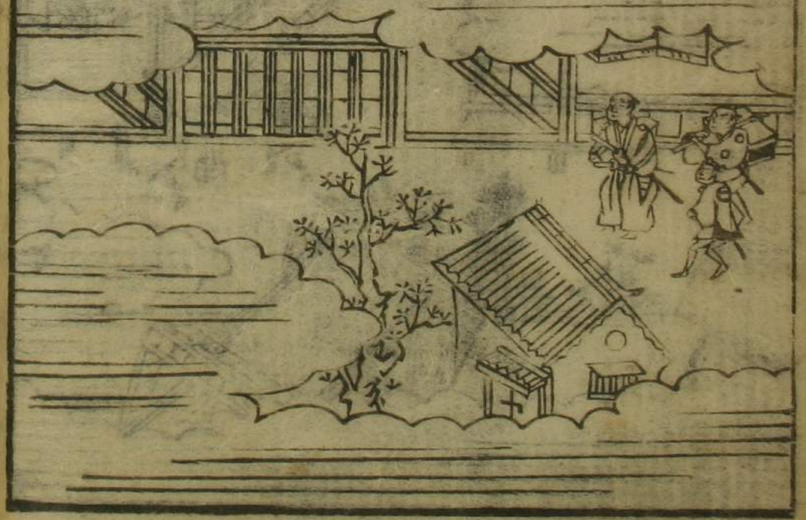
京







わしゃ　ひろまへ　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて



おきよの　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて

大津の宿

ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて
ゆきて　ゆきて　ゆきて　ゆきて